

# IV B 寝台用エレベータ

## IV-1 計画編（一方向出入口）

### 1-1 エレベータの仕様、台数の選定

- 病院における人の交通では、面会時間開始直後の見舞い客の出入りによってピークが生じ、この交通需要は一般的に5分間に1ベッド当たり0.2人です。また、ストレッチャーを含む諸運搬車の交通は、午前と午後に緩やかなピークを生じ、その交通量は一般的に5分間に1ベッド当たり0.02台です。病院に設置されるエレベータの仕様は、これらの交通需要に加え、病院の種類、立地条件、病棟、外来、診察室の配置、運営方法等も考慮の上、選択する必要があります。
- 病院用エレベータの選定はストレッチャーなどの大きさ、重さに応じて選定してください。

### エレベータ設置計画上のご注意

- 寝台用エレベータを設置できる建物は病院、診療所（患者の収容施設のあるもの）、老人保健施設、特別養護老人ホーム、身体障がい者養護施設、重症心身障がい児施設などです。また、寝台用エレベータはストレッチャーなどの運搬を主な目的としたもので、寝台用エレベータに適さない用途の建物に設置する場合や、ふさわしくない階に停止させる場合は、所轄行政庁と十分に協議願います。また医療に直接関係のない階に停止させることは好ましくありません。

**フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。**

- BIMダウンロード
- CADダウンロード

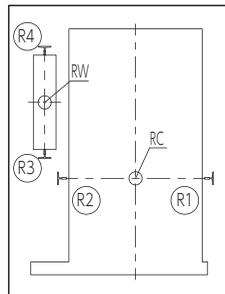
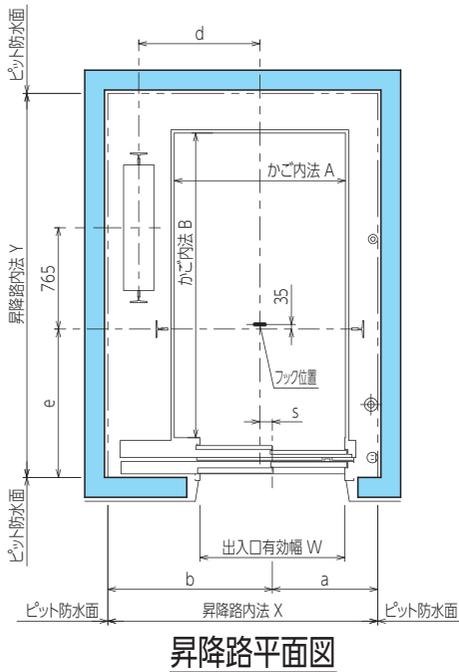
上記2つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。

設計をお考えの方は <https://www.fujitec.co.jp/sales/>

## 1-2 基本仕様

No.	型式	定格速度 (m/min)	容量		電動機容量 (kW)
			定員 (名)	積載 (kg)	
1	B-11-2S-45	45	11	750	3.5
2	B-11-2S-60	60			4.6
3	B-11-2S-90	90			6.9
4	B-11-2S-105	105			8.1
5	B-15-2S-45	45	15	1000	4.6
6	B-15-2S-60	60			6.2
7	B-15-2S-90	90			9.2
8	B-15-2S-105	105			11.0
9	B-17-2S-45	45	17	1150	5.3
10	B-17-2S-60	60			7.1
11	B-17-2S-90	90			11.0
12	B-20-2S-45	45	20	1300	6.0
13	B-20-2S-60	60			8.0
14	B-20-2S-90	90			12.0
15	B-23-2S-45	45	23	1500	6.9
16	B-23-2S-60	60			9.2
17	B-23-2S-90	90			14.0

### 1-3 昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）

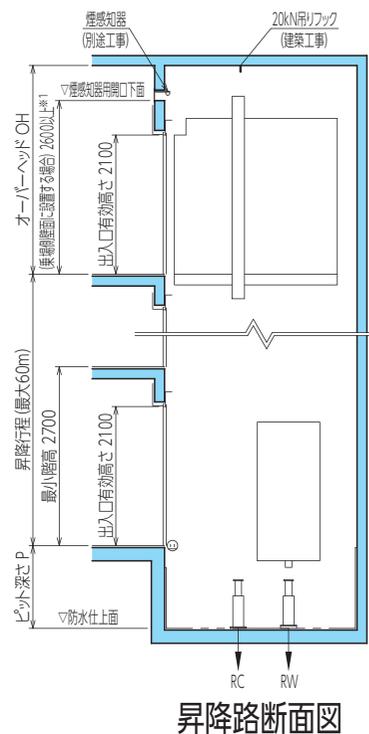


レールに作用する荷重値

Py	Px	
	かご	おもり
Py	PC1	PC2
Px	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引込み位置 引込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊙	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

## 標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P	a	b	d	e	s
				昇降行程								
				30m以下	45m以下	60m以下						
B-11-2S-45	1300×2300	1100	2050×2900	3000	3050	3150	1250	800	1250	920	1120	95
B-11-2S-60				3350	3400	3500						
B-11-2S-90				3450	3500	3600						
B-11-2S-105												
B-15-2S-45	1500×2500	1200	2300×3100	3000	3050	3150	1250	890	1410	1020	1220	145
B-15-2S-60				3350	3400	3500						
B-15-2S-90				3450	3500	3600						
B-15-2S-105												

- [注] ①昇降路内法はJIS A4301-1983によります。  
 ②昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。  
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。  
 ④最大ピット寸法は2000mmです。  
 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）  
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。  
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。  
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。  
 ⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となります。  
 ⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。  
 ⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm<sup>2</sup>（Fc21）以上確保ください。  
 ⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。  
 ⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

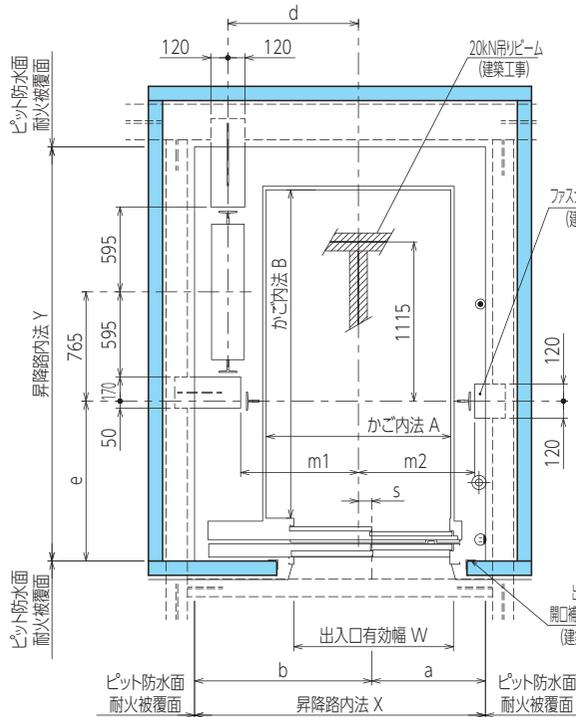
## 荷重表

(単位：kN)

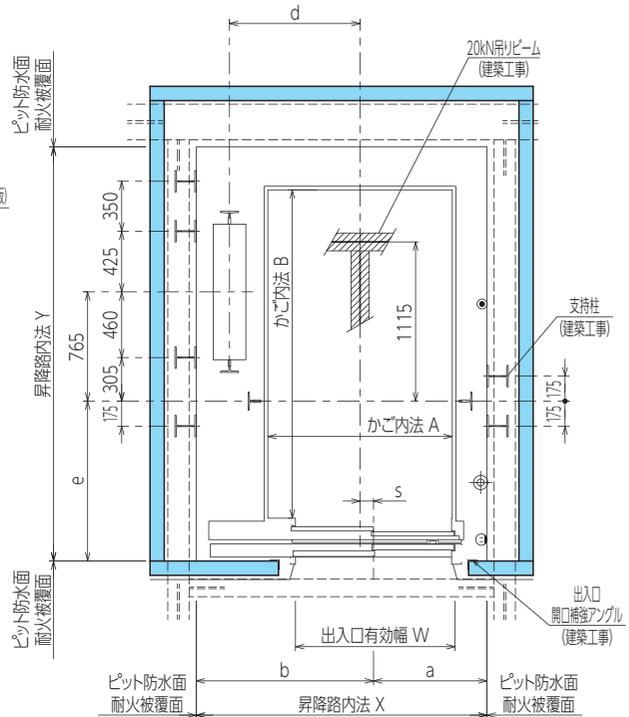
型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S-45	43	17	78	36	88	71	7.2	5.3	8.2	4.2
B-11-2S-60					108	102				
B-11-2S-90					117	112				
B-11-2S-105					118	112				
B-15-2S-45	46	16	84	39	102	92	7.8	5.8	9.2	4.8
B-15-2S-60					129	119				
B-15-2S-90					136	125				
B-15-2S-105					137	126				

- [注] ①設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA14)  
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

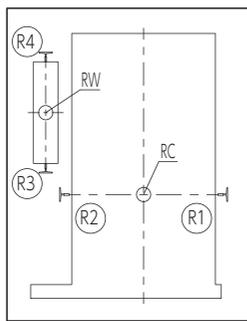
# 1-4 昇降路がS造の場合の寸法例 (積載1000kg以下)



昇降路平面図  
(ファスナーの場合)



昇降路平面図  
(レール支持用柱の場合)

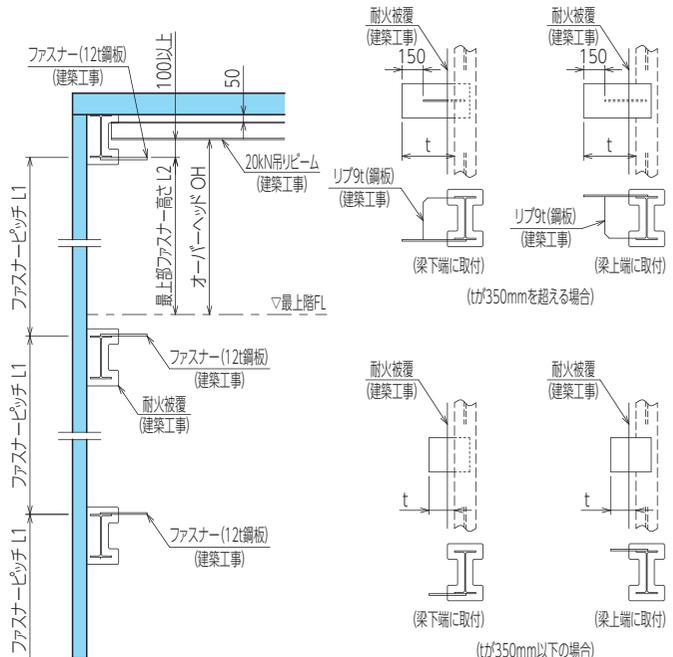


ピット荷重分布図

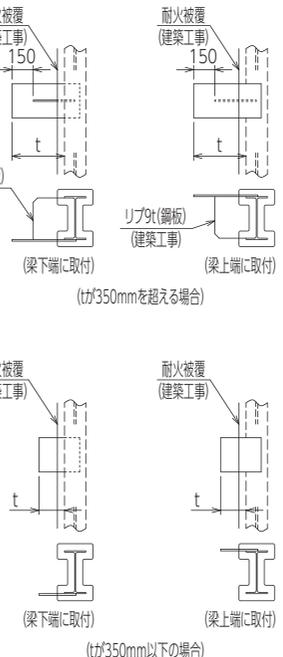
レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎ NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3000mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)

## 標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ P	a	b	d	e	s	m1	m2
				昇降行程										
				30m以下	45m以下	60m以下								
B-11-2S-45	1300×2300	1100	2050×2900	3000	3050	3150	1250	800	1250	920	1125	95	830	820
B-11-2S-60				3350	3400	3500								
B-11-2S-90				3450	3500	3600								
B-11-2S-105				3450	3500	3600								
B-15-2S-45	1500×2500	1200	2300×3100	3000	3050	3150	1250	890	1410	1020	1225	145	930	920
B-15-2S-60				3350	3400	3500								
B-15-2S-90				3450	3500	3600								
B-15-2S-105				3450	3500	3600								

- [注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。  
 ②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。  
 ③最大ピット寸法は2000mmです。  
 ④最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。（建築工事）  
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。  
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。  
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。  
 ⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となります。  
 ⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。  
 ⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm<sup>2</sup>（Fc21）以上確保ください。  
 ⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

## 荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S-45	43	17	78	36	88	71	7.2	5.3	8.2	4.2
B-11-2S-60					108	102				
B-11-2S-90					117	112				
B-11-2S-105					118	112				
B-15-2S-45	46	16	84	39	102	92	7.8	5.8	9.2	4.8
B-15-2S-60					129	119				
B-15-2S-90					136	125				
B-15-2S-105					137	126				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）  
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

## ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
B-11-2S-45	3350以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
B-11-2S-60		3100~3250	3150~3300	3250~3400
B-11-2S-90				
B-11-2S-105				
B-15-2S-45	3300以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
B-15-2S-60		3100~3250	3150~3300	3250~3400
B-15-2S-90				
B-15-2S-105				

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。  
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。  
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）



## 標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥			ビット深さ P	a	b	c	d	e	s	
				昇降行程										
				30m以下	45m以下	60m以下								
B-17-2S-45	1800×2500	1500	2700×2940	3300	3350	3450	1250	1035	1665	665	1245	1590	145	
B-17-2S-60				3400	3450	3550								1400
B-17-2S-90				3300	3350	3450								1250
B-20-2S-45	1800×2800	1500	2700×3190	3300	3350	3450	1250	1035	1665	690	1245	1740	145	
B-20-2S-60				3400	3450	3550								1400
B-20-2S-90				3300	3350	3450								1250
B-23-2S-45	2000×3000	1800	3150×3390	3300	3350	3450	1250	1185	1965	690	1345	1840	95	
B-23-2S-60				3400	3450	3550								1400
B-23-2S-90				3300	3350	3450								1250

- [注] ①昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。  
 また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。  
 ②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。  
 ③最大ビット寸法は2000mmです。  
 最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）  
 ④ビット下部は原則として使用できません。  
 ⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。  
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。  
 ⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、  
 別途換気設備（別途工事）が必要となります。  
 ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。  
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。  
 また、同コンクリートの強度は21N/mm<sup>2</sup>（Fc21）以上確保ください。  
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や  
 特に高さのある機器をかご上に設置する場合は  
 更にオーバーヘッド寸法が必要となります。  
 ⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、  
 昇降路内法が大きくなる場合があります。

## 荷重表

(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
B-17-2S-45	59	60	60	47	31	135	124	10.5	8.6	11.6	6.3	1.8	1.8
166						157							
175						166							
B-20-2S-45	62	63	63	49	32	143	131	11.0	9.1	12.2	6.6	1.8	1.8
178						165							
186						174							
B-23-2S-45	63	63	63	49	33	147	131	10.8	9.2	12.2	6.6	1.8	1.8
182						165							
216						207							

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）  
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。



## 標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥			ビット深さ P	a	b	c	d	e	m1	m2	n1	n2	s	
				昇降行程														
				30m以下	45m以下	60m以下												
B-17-2S-45	1800×2500	1500	2750×2990	3300	3350	3450	1250	1050	1700	665	1245	1595	1370	1105	515	615	145	
B-17-2S-60				3400	3450	3550												1400
B-17-2S-90				3400	3450	3550												1400
B-20-2S-45	1800×2800	1500	2750×3240	3300	3350	3450	1250	1050	1700	690	1245	1745	1370	1105	540	640	145	
B-20-2S-60				3400	3450	3550												1400
B-20-2S-90				3400	3450	3550												1400
B-23-2S-45	2000×3000	1800	3200×3440	3300	3350	3450	1250	1200	2000	690	1345	1845	1470	1205	540	640	95	
B-23-2S-60				3400	3450	3550												1400
B-23-2S-90				3400	3450	3550												1400

- [注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。  
 ②ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。  
 ③最大ビット寸法は2000mmです。  
 最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）  
 ④ビット下部は原則として使用できません。  
 ⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。  
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。  
 ⑥クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、  
 別途換気設備（別途工事）が必要となります。

- ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。  
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。  
 条件により、必要壁厚が厚くなる場合があります。  
 また、同コンクリートの強度は21N/mm<sup>2</sup>（Fc21）以上確保ください。  
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や  
 特に高さのある機器をかご上に設置する場合は  
 更にオーバーヘッド寸法が必要となります。  
 ⑩レール支持用柱の場合、昇降路内法XおよびY寸法は+35mmとなります。（B-23以外）

## 荷重表

(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
B-17-2S-45	59	60	60	47	31	135	124	10.5	8.6	11.6	6.3	1.8	1.8
B-17-2S-60						166	157						
B-17-2S-90						175	166						
B-20-2S-45	62	63	63	49	32	143	131	11.0	9.1	12.2	6.6	1.8	1.8
B-20-2S-60						178	165						
B-20-2S-90						186	174						
B-23-2S-45	63	63	63	49	33	147	131	10.8	9.2	12.2	6.6	1.8	1.8
B-23-2S-60						182	165						
B-23-2S-90						216	207						

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）  
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

## ファスナー取付寸法表

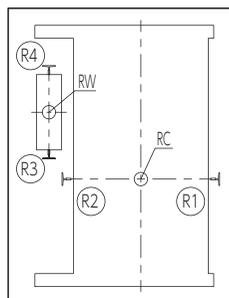
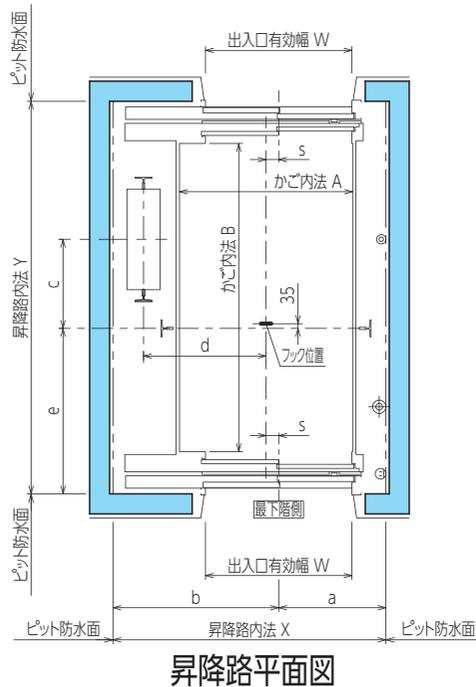
(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
B-17-2S-45	3750以下	3000~3035	3050~3085	3150~3185
B-17-2S-60		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-17-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-20-2S-45	3600以下	3000~3035	3050~3085	3150~3185
B-20-2S-60		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-20-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-23-2S-45	3300以下	3000~3035	3050~3085	3150~3185
B-23-2S-60		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-23-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。  
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。  
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

## IV-2 計画編 (二方向出入口)

### 2-1 昇降路がRC造の場合の寸法例 (積載1000kg以下)

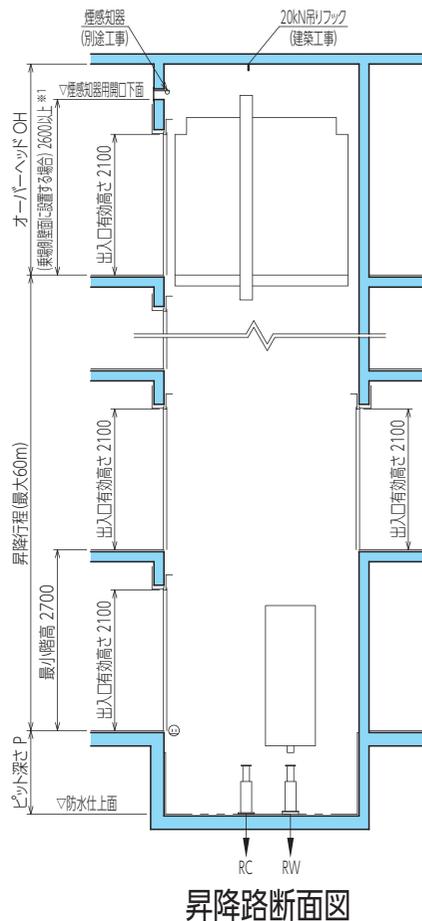


レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎ NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕ 電源引込み位置 引込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	⊕ 電源引込み位置 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	⊙ 点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

## 標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦			ビット深さ P 注②		a	b	c	d	e	s
				昇降行程			標準	特殊						
				30m以下	45m以下	60m以下								
B-11-2S-45	1300×2300	1100	2050×2930	3000	3050	3150	1250	1600	805	1245	665	920	1235	95
B-11-2S-60				3350	3400	3500								
B-11-2S-90				3450	3500	3600								
B-11-2S-105				3450	3500	3600								
B-15-2S-45	1500×2500	1200	2300×3130	3000	3050	3150	1250	1600	855	1445	765	1020	1310	145
B-15-2S-60				3350	3400	3500								
B-15-2S-90				3450	3500	3600								
B-15-2S-105				3450	3500	3600								

- [注] ①ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。  
 ②以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。  
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び  
 開閉機器点検口を設けられない場合  
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。  
 ④最大ビット寸法は2000mmです。  
 最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）  
 ⑤ビット下部は原則として使用できません。  
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。  
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。  
 ⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、  
 別途換気設備（別途工事）が必要となります。  
 ⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。  
 ・正面ドア、背面ドア共通遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20  
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10  
 ・上記以外：Y±0  
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。  
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm<sup>2</sup>（Fc21）以上確保ください。  
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。  
 ⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

B  
寝台用

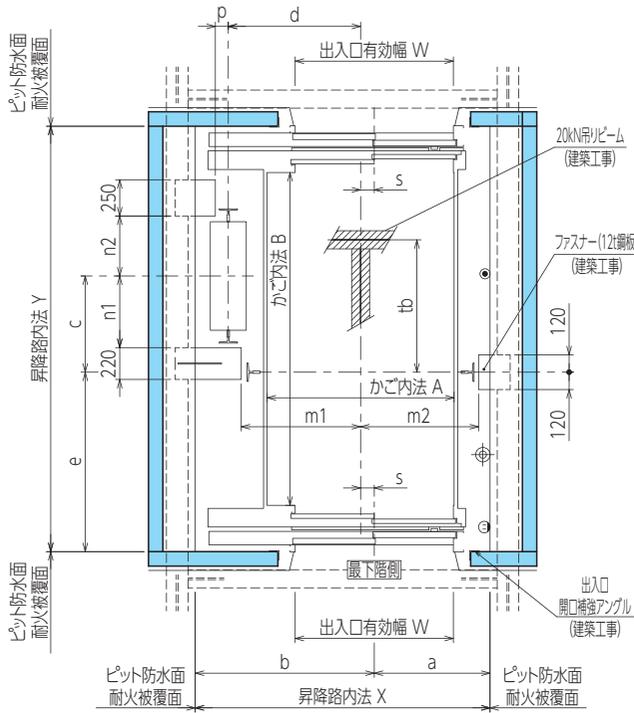
## 荷重表

(単位：kN)

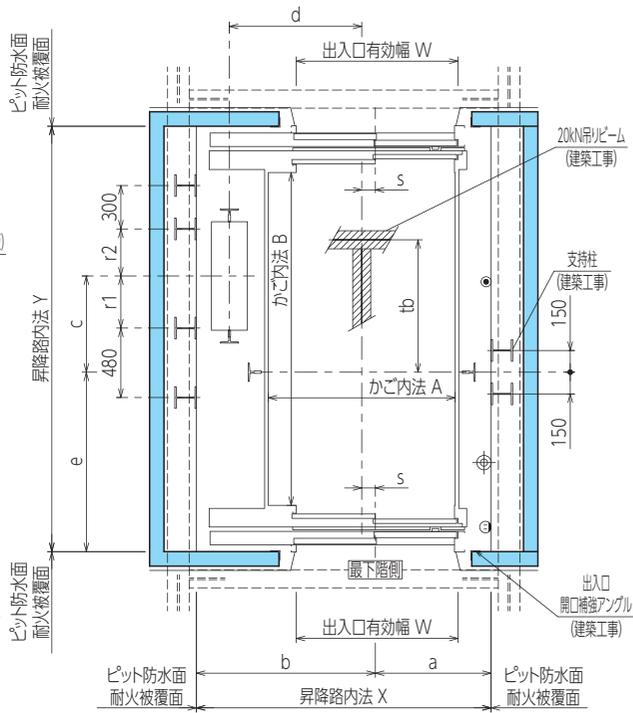
型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S-45	45	14	86	38	93	88	8.0	6.1	9.2	4.8
B-11-2S-60					121	117				
B-11-2S-90					128	123				
B-11-2S-105					129	124				
B-15-2S-45	48	15	87	40	108	98	8.4	6.1	9.7	5.1
B-15-2S-60					135	125				
B-15-2S-90					141	132				
B-15-2S-105					143	134				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）  
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

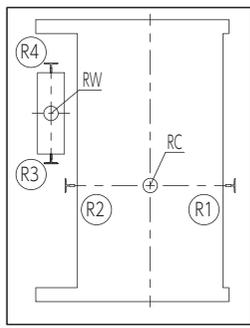
## 2-2 昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図  
(ファスナーの場合)



昇降路平面図  
(レール支持用柱の場合)



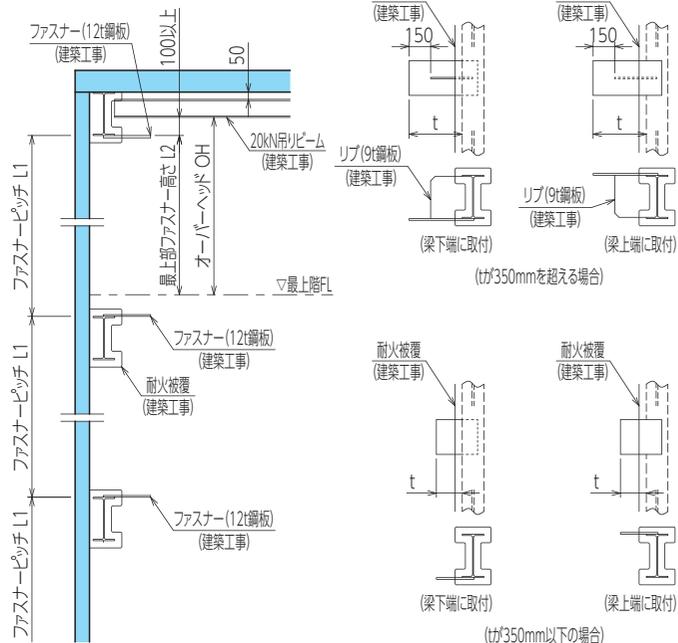
ピット荷重分布図

### レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
↓	←	↓
かご	おもり	おもり
PC1	PW1	PW2
PC2		

本荷重による建築部材のたわみは 5mm 以下としてください。

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎ NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H (天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H (天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

## 標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦			ビット深さ P 注②		a	b	c	d	e	m1	m2	n1	n2	p	r1	r2	s	tb
				昇降行程			標準	特殊														
				30m以下	45m以下	60m以下																
B-11-2S-45	1300×2300	1100	2050×2940	3000	3050	3150	1250	1600	805	1245	665	920	1240	830	820	495	415	90	360	325	95	915
B-11-2S-60				3350	3400	3500																
B-11-2S-90				3450	3500	3600																
B-11-2S-105				3450	3500	3600																
B-15-2S-45	1500×2500	1200	2300×3140	3000	3050	3150	1250	1600	855	1445	765	1020	1315	930	920	595	445	120	460	425	145	1055
B-15-2S-60				3350	3400	3500																
B-15-2S-90				3450	3500	3600																
B-15-2S-105				3450	3500	3600																

- [注] ①ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。  
 ②以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。  
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合  
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。  
 ④最大ビット寸法は2000mmです。  
 最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）  
 ⑤ビット下部は原則として使用できません。  
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。  
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。  
 ⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となります。  
 ⑧上表の昇降路内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。  
 ・正面ドア、背面ドア共通遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20  
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10  
 ・上記以外：Y±0  
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。  
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21 N/mm<sup>2</sup>（Fc21）以上確保ください。  
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

B  
寝台用

## 荷重表

(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S-45	45	14	86	38	93	88	8.0	6.1	9.2	4.8
B-11-2S-60					121	117				
B-11-2S-90					128	123				
B-11-2S-105					129	124				
B-15-2S-45	48	15	87	40	108	98	8.4	6.1	9.7	5.1
B-15-2S-60					135	125				
B-15-2S-90					141	132				
B-15-2S-105					143	134				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）  
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

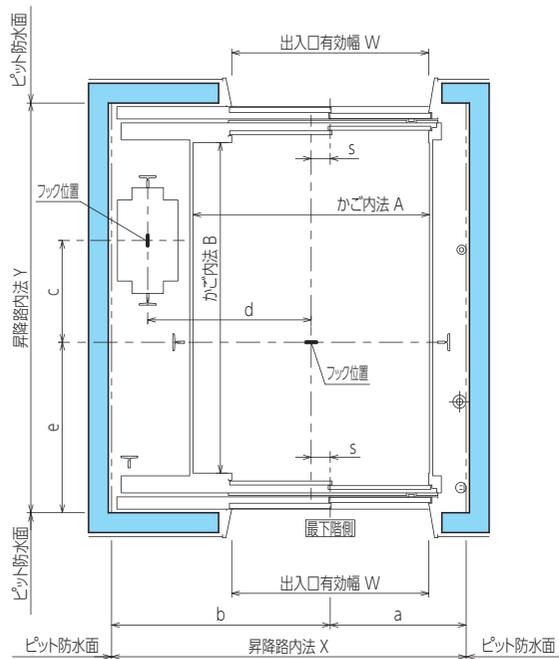
## ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

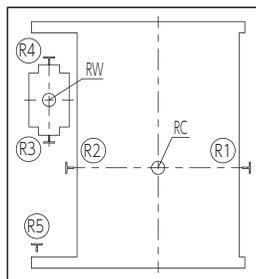
型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
B-11-2S-45	3400以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
B-11-2S-60		3100~3250	3150~3300	3250~3400
B-11-2S-90		3200~3350	3250~3400	3350~3500
B-11-2S-105		3200~3350	3250~3400	3350~3500
B-15-2S-45	3500以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
B-15-2S-60		3100~3250	3150~3300	3250~3400
B-15-2S-90		3200~3350	3250~3400	3350~3500
B-15-2S-105		3200~3350	3250~3400	3350~3500

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。  
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。  
 ③設計用水平震度0.6の場合を示します。（耐震クラスA14）

## 2-3 昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超）



昇降路平面図



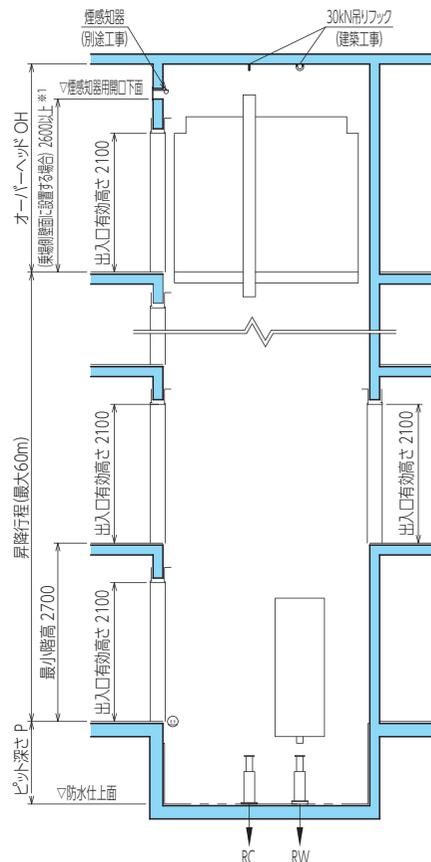
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	Px		Py
	かご	PC1 PC2	
↓	おもり	PW1 PW2	↑
	柱	PH1 PH2	

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
Ⓛ	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

# 標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y 注⑬	オーバーヘッド OH 注⑧			ビット深さ P 注②		a	b	c	d	e 注⑬	s
				昇降行程			標準	特殊						
				30m以下	45m以下	60m以下								
B-17-2S-45	1800×2500	1500	2700×3100 (3130)	3300	3350	3450	1250	1650	1035	1665	770	1245	1290 (1305)	145
B-17-2S-60				3400	3450	3550	1400	1800						
B-17-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800						
B-20-2S-45	1800×2800	1500	2700×3400 (3430)	3300	3350	3450	1250	1650	1035	1665	795	1245	1440 (1455)	145
B-20-2S-60				3400	3450	3550	1400	1800						
B-20-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800						
B-23-2S-45	2000×3000	1800	3150×3600 (3630)	3300	3350	3450	1250	1650	1185	1965	870	1345	1540 (1555)	95
B-23-2S-60				3400	3450	3550	1400	1800						
B-23-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800						

[注] ①昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。  
また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。  
②以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。  
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合  
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。  
④最大ビット寸法は2000mmです。  
最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）  
⑤ビット下部は原則として使用できません。  
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。  
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。  
⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となります。

⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。  
適用ありの場合は下記寸法になります。  
・正面ドア、背面ドア共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20  
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10  
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。  
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。  
また、同コンクリートの強度は21N/mm<sup>2</sup>（Fc21）以上確保ください。  
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要となります。  
⑫昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。  
⑬昇降行程が30mを超える場合は、（ ）内の寸法となります。

B  
寝台用

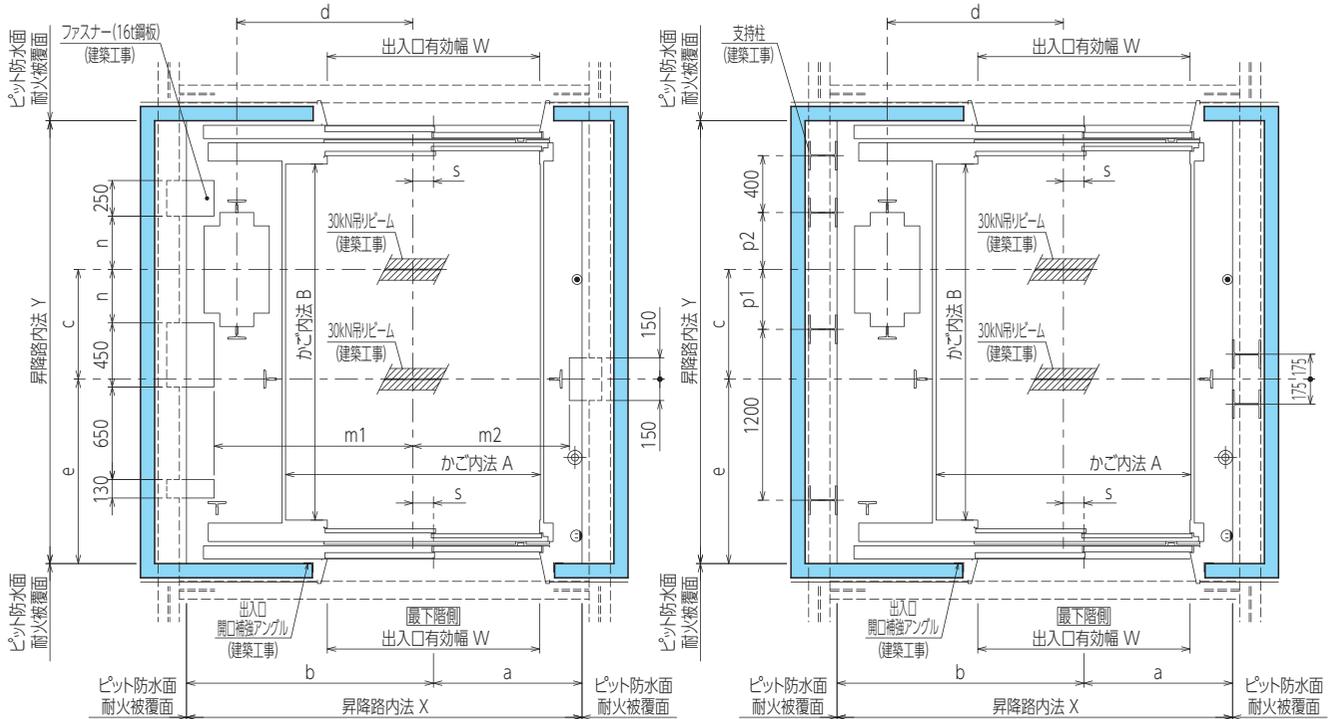
# 荷重表

(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
B-17-2S-45	61	56	90	47	12	138	128	11.3	8.1	11.9	6.5	1.8	1.8
B-17-2S-60						171	161						
B-17-2S-90						180	171						
B-20-2S-45	63	58	92	49	11	146	135	11.8	8.6	12.5	6.8	1.8	1.8
B-20-2S-60						181	170						
B-20-2S-90						192	180						
B-23-2S-45	65	59	94	50	10	154	138	11.9	8.7	12.8	6.9	1.8	1.8
B-23-2S-60						191	174						
B-23-2S-90						200	184						

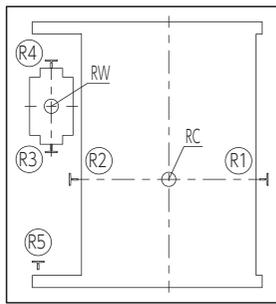
[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）  
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

## 2-4 昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超）



昇降路平面図  
(ファスナーの場合)

昇降路平面図  
(レール支持用柱の場合)

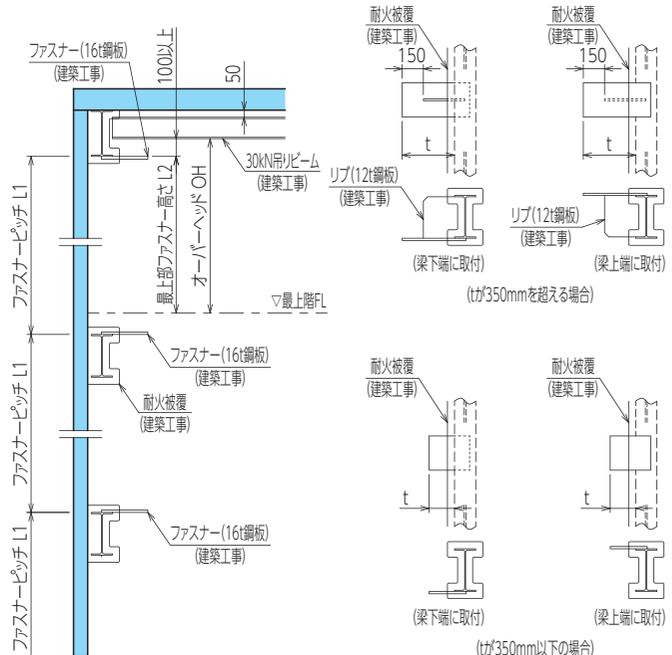


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2
柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
⊙	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)

# 標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y 注⑬	オーバーヘッド OH 注⑦			ビット深さ P 注⑫		a	b	c	d	e 注⑬	m1	m2	n	p1	p2	s
				昇降行程			標準	特殊											
				30m以下	45m以下	60m以下													
B-17-2S-45	1800×2500	1500	2795×3110 (3140)	3300	3350	3450	1250	1650	1050	1745	770	1245	1295 (1310)	1405	1105	375	420	400	145
B-17-2S-60				3400	3450	3550	1400	1800											
B-17-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											
B-20-2S-45	1800×2800	1500	2795×3410 (3440)	3300	3350	3450	1250	1650	1050	1745	795	1245	1445 (1460)	1405	1105	400	445	425	145
B-20-2S-60				3400	3450	3550	1400	1800											
B-20-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											
B-23-2S-45	2000×3000	1800	3245×3610 (3640)	3300	3350	3450	1250	1650	1200	2045	870	1345	1545 (1560)	1505	1205	475	520	500	95
B-23-2S-60				3400	3450	3550	1400	1800											
B-23-2S-90				3400	3450	3550	1400	1800											

- [注] ①昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。  
また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。  
②以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。  
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合  
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。  
④最大ビット寸法は2000mmです。  
⑤最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）  
⑥ビット下部は原則として使用できません。  
⑦昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。  
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。  
⑧クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別換気設備（別途工事）が必要となります。
- ⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。  
適用ありの場合は下記寸法になります。  
・正面ドア、背面ドア共通煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+20  
・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合：Y+10  
・上記以外：Y±0  
⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。  
⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。  
また、同コンクリートの強度は21 N/mm<sup>2</sup>（Fc21）以上確保ください。  
⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。  
⑫レール支持用柱の場合、昇降路内法Xおよびb寸法は、+35mmとなります。（B-23以外）  
⑬昇降行程が30mを超える場合は、（ ）内の寸法となります。

B  
寝  
台  
用

# 荷重表

(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
B-17-2S-45	61	56	90	47	12	138	128	11.3	8.1	11.9	6.5	1.8	1.8
B-17-2S-60						171	161						
B-17-2S-90						180	171						
B-20-2S-45	63	58	92	49	11	146	135	11.8	8.6	12.5	6.8	1.8	1.8
B-20-2S-60						181	170						
B-20-2S-90						192	180						
B-23-2S-45	65	59	94	50	10	154	138	11.9	8.7	12.8	6.9	1.8	1.8
B-23-2S-60						191	174						
B-23-2S-90						200	184						

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）  
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

# ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
B-17-2S-45	3600以下	3000~3035	3050~3085	3150~3185
B-17-2S-60		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-17-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-20-2S-45	3550以下	3000~3035	3050~3085	3150~3185
B-20-2S-60		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-20-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-23-2S-45	3400以下	3000~3035	3050~3085	3150~3185
B-23-2S-60		3100~3135	3150~3185	3250~3285
B-23-2S-90		3100~3135	3150~3185	3250~3285

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。  
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。  
③設計用水平震度0.6の場合を示します。（耐震クラスA14）